

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和6年10月1日

浦和レッズ×埼玉スタジアム2002×埼玉県 人工芝入りグッズ作りのワークショップ、原口元気選手サイン入り3分別ボックス展示

埼玉県では、浦和レッズなどと連携し、埼玉スタジアム2002において、スタジアムから排出されるゴミの分別回収を行う有効な手法の検証や再製品化の検討を行う「サーキュラーエコノミー^{*1}実証実験」を行っています。

このたび、10月5日(土曜日)2024 明治安田生命 J1 リーグ 第33節浦和レッドダイヤモンズ vs セレッソ大阪戦においてサーキュラーエコノミーブースを出展します。

今回は、埼玉スタジアムのグラウンドで実際に使われていた人工芝の切れ端を回収し、再利用したキーホルダー作りのワークショップや、原口元気選手からサインをいただいたペットボトル3分別用回収ボックスの展示を行います。是非、お立ち寄りください。

*1 生産活動や消費活動などのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図る経済活動です。

【日時】

令和6年10月5日(土曜日) 12時00分から16時00分まで

※天候等により変更の可能性あり

【開催場所】

埼玉スタジアム2002(さいたま市緑区美園2-1) 南広場

【実施概要】

- 人工芝の切れ端を使ったコバトンキーホルダー作りのワークショップ
埼玉スタジアムのグラウンドで実際に使われていた人工芝^{*2}の切れ端と、
埼玉県内小売店舗等にて回収した使用済プラスチック容器を再利用し、コ

バトンのキーホルダーを作ります。 ※ なくなり次第、終了

*2 今年度、埼玉スタジアム 2002 と県は、人工芝を使用したグラウンドからの廃棄物の削減にかかる調査や資源循環の検討に取り組んでいます。

2. ペットボトル3分別用回収ボックス（原口選手のサイン入り）の展示

昨年度から、埼玉スタジアムではコンコース出入口にペットボトル3分別用回収ボックスを設置し、来場者の皆さんに3分別していただいたペットボトルのリサイクルを行っています。皆さんのご協力で、3分別率は0%から70%まで上昇しています。

このたび、原口元気選手からサインをいただいた3分別用回収ボックスを展示します。観戦を楽しみながら、環境に優しい取組へご協力をお願いします。

【本取組にご協力いただく企業】

以下のとおり、埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォームのサーキュラーエコノミー推進分科会会員企業様のご協力をいただいております。

- ・ユニバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社（ユニバ 空容器フレーク提供）

<https://www2.unilever.co.jp/unile/ecocp.html>

- ・PHI 株式会社（全体マネジメント）

<http://www.phi-gr.com/>

【問い合わせ先】

埼玉県環境部資源循環推進課

サーキュラーエコノミー担当 照井

企画調整・一般廃棄物担当 風間

電話 048-830-3107 E-mail: a3100-10@pref.saitama.lg.jp

《参考》

○キーホルダー作りについて

プラスチックを宝石に

埼玉スタジアムの人工芝
×
使用済プラスチック
サッカーコバトンキーホルダー
ワークショップ



| | | | |
|---|--------------------------------|---|---|
|  | カイオロヒアミオナ Kaiolohia207 | 作る＆飾めるワクワクをお届けしたい レジンジュエリーアーティスト 環境省プラスチックスマート優良取組事業者 |  |
|  | SDGsプラットフォーム 「UMILE(ユーマイル)」 | 消費者の皆さまが毎日の暮らしの中で お得に楽しく地球のためのアクションをとれるプログラム |  |
|  | PHI株式会社 tomonobu_shigeta | 「環境教育」×「地域資源循環」 持続可能な未来の創り手を育成 令和6年度 埼玉県 サークラーエコノミー推進事業 採択企業 J-Startup WEST Supporters 選定 |  |

○ペットボトル3分別用回収ボックス（原口選手のサイン入り）

